

裾野市指定管理者選定評価委員会（健康福祉部）
（ヘルシーパーク裾野）

審 査 報 告

令和4年6月2日

ヘルシーパーク裾野の指定管理者の候補者の選定にあたり、裾野市指定管理者選定評価委員会（以下、「選定委員会」という。）は、申請者から提出された申請書類による書類審査及び面接審査により審査を行った。

1. 選定委員会委員

委員長 大庭 崇彦（公認会計士、裾野市行政改革推進委員会委員）
委員 勝又 美代子（元裾野市行政改革推進委員会委員）
委員 鈴木 努（市長戦略部長）
委員 石井 敦（健康福祉部長）

2. 選定経過

日程	内容
令和4年 1月 26日（水）	選定委員会（募集要項、申請書類等確認）
2月 8日（火）	募集要項の公表
2月 24日（木）	現地説明会（13団体が参加）
2月 24日（木）	公募に関する質問の受付開始
2月 25日（金）	申請受付開始
3月 4日（金）	公募に関する質問の受付終了（142件）
3月 11日（金）	公募に関する質問への回答
3月 31日（木）	申請受付終了（1団体が申請）
4月 28日（木）	選定委員会（一次審査）
5月 20日（金）	選定委員会（二次審査）

3. 審査方法

選定委員会では、下記の評価基準項目及び配点をあらかじめ定めた上で、一次審査（書類審査）及び二次審査（面接審査）により選定委員会としての指定管理者の候補者を選定した。

4. 評価基準項目及び配点

(1)書類審査

評価項目		配点	審査基準	
I	基本的事項	1 団体の経営方針	3	<ul style="list-style-type: none"> ○施設運営の明確な方向性 ○施設運営への意欲 ○施設の現状を正しく認識し、将来展望への具体的かつ適切な提案
		2 指定管理者の指定申請理由	3	
		3 施設に対する考え方・将来展望	4	
II	経営基盤・運営実績	1 管理運営の基本方針	20	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の管理運営を実施するにあたっての基本的な考え方 ○指定期間内における目標の達成 ○市の他施設との連携に関する事項
		2 経営基盤	20	金融機関や出資者からの支援体制
		3 運営実績	20	<ul style="list-style-type: none"> ○温浴施設等類似施設の運営実績 ○温浴施設等類似施設の経営状況及び経営方針
III	事業計画書	1 サービスの向上に関する事項	10	<ul style="list-style-type: none"> ○年間事業の実実施計画の概要 ○サービス向上への具体的な取り組み
		2 利用者の施設利用に関する事項	10	<ul style="list-style-type: none"> ○平等な施設利用の確保への具体的な取り組み ○利用者の増加への具体的な取り組み ○利用者の意見・要望等の把握の方法 ○利用者の苦情等への対処方法 ○施設効用の最大化への取り組み
		3 組織体制、人員配置等に関する事項	20	<ul style="list-style-type: none"> ○組織体制、人材の確保に関する具体策(採用計画等) ○職員の配置計画(指揮系統が分かる配置図、雇用関係、勤務体制、業務内容など) ○人材育成及び職員研修に関する計画 ○その他施設を安定して管理運営するための人員の確保策等

		4 安全管理への取組みに関する事項	10	<ul style="list-style-type: none"> ○施設・設備に係る安全管理への取組み ○災害や事故の防止への取組み ○犯罪の防止への取組み ○緊急時の対応
		5 施設・設備の維持管理等に関する事項	20	<ul style="list-style-type: none"> ○施設・設備の管理体制 ○施設・設備の適切な維持管理への取組み ○効率的な維持管理を実施するための考え方 ○外部委託等に係る市内発注の考え方
Ⅲ	事業計画書	6 自主事業の実施に関する事項	10	<ul style="list-style-type: none"> ○自主事業計画の内容の適切性 ○自主事業を活性化させるための具体的かつ適切な提案
		7 個人情報及び情報公開に関する事項	10	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報の保護に関する具体的な取組み ○情報公開に関する具体的な取組み
		8 その他に関する事項	10	<ul style="list-style-type: none"> ○広報活動に関する具体的な取組み ○リスクへの対応 ○地域経済活性化への参加及び貢献に対する具体的な取組み
		9 収支計画に関する事項	30	<ul style="list-style-type: none"> ○総合的に見た収支予算の適切性 ○指定管理料の額の適切性 ○経費節減策の適切性 ○利用促進等、収入増加策の適切性

(2)面接審査

審 査 基 準	
1	事業計画書の内容が、利用者の平等な利用を確保できるものであること及びサービスの向上が図られるものであること。 (30点) ① 関係する法律、条例等に基づく施設の管理基準を理解し、遵守が見込まれるか。 ② 特定の団体等を優遇するおそれはないか。 ③ 情報公開・個人情報保護に係る措置が適切に講じられる見込みがあるか。
2	事業計画書の内容が当該施設の効用を最大限に発揮させるとともにその管理に係る経費の縮減が図られるものであること。 (60点) ① 施設の管理業務に対する基本方針は適切か。 ② 施設の現状を正しく認識し、今後の在り方について具体的かつ適切な提案があるか。 ③ 自主事業計画書の内容は適切か。 ④ 利用者に対するサービス向上策は適切か。 ⑤ 利用者の要望の把握及びその実現策は適切か。
3	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有している又は確保できる見込みがあるものであること。 (50点) ① 総合的に、収支予算書が適切で、管理経費の節減が図られる見込みがあるか。 ② 経費節減のための方策は適切か。 ③ 人件費の設定は適切か。 ④ その他の管理経費の設定に無理はないか。
4	前3号に掲げるもののほか、当該施設の設置目的を効果的に達成するための能力を有しており、かつ、市の方針に沿ったものであること。 (50点) ① 法人等の経営状況に問題はないか。 ② 施設の管理業務に係る職員体制(管理体制・研修計画・緊急時の対応)は十分なものか。また、施設の管理業務のうち第三者に行わせる業務は、必要最小限の範囲か。 ③ 同種の施設の管理実績があるなど必要な管理能力を期待することができるか。
5	プレゼンテーションでの説明及び質疑に対する回答 (10点) ① 提出された事業計画、収支計画及びその他細部に渡る根拠を明確に把握しており即答出来ているか。

5. 審査結果

選定委員会にて、申請のあった 1 団体を対象に一次審査（書類審査）及び二次審査（面接審査）を実施した。

その結果、下記のように選定委員会としての指定管理者の候補者を選定した。

候補者名	候補者の得点
株式会社 富士開発	1,024 点 / 1,600 点 (得点率 64.0%)

6. 総評及び選定理由

- ・公募により申請のあった 1 団体について、審査基準に基づいて採点した結果、株式会社富士開発が、基準点（満点の 6 割）を満たす得点結果となった。
- ・選定にあたっては、安全な施設の維持管理を行うとともに、市民の健康増進、福祉の向上及び地域の振興に寄与する前提に立って評価を行った。
- ・候補者の提案は、温泉施設でありながら単なる温泉施設にとどまらず、心身の健康を目的に運営することを意識した点が時代になかった内容であった。また、昨今のトレンドであるウェルビーイングや環境問題など、温泉以外の事項にも取り組む姿勢は評価できるものであった。
- ・また地域貢献に重きを置いていた点や、周辺地域からの集客増を図るというコンセプトは非常に期待できるものであった。
- ・その一方で、候補者は設立後間もない法人であり、資金面や人材確保等が懸念事項であるため、市と連携して解消していただきたい。
- ・市には、候補者からの提案内容のうち、実現可能な内容が着実に実施されるよう、候補者とのコミュニケーションを密に行い、市と候補者が協力して施設再開に向けて進めることを求める。